

インチキ避難計画で進められた 柏崎刈羽原発の再稼働

2026年 2月15日(日)13時から

13:00~15:00 講演会(72名),
15:30~17:00 ワークショップ(10名)

講演会終了後に避難計画に関する情報公開
請求を検討するワークショップを行います。

会場 **クロスパルにいがた 4階404・405号室**

新潟市中央区鍬町3ノ町 2086-1 Tel 025-224-2088

参加費 講演会 1,000円、ワークショップ 3,000円

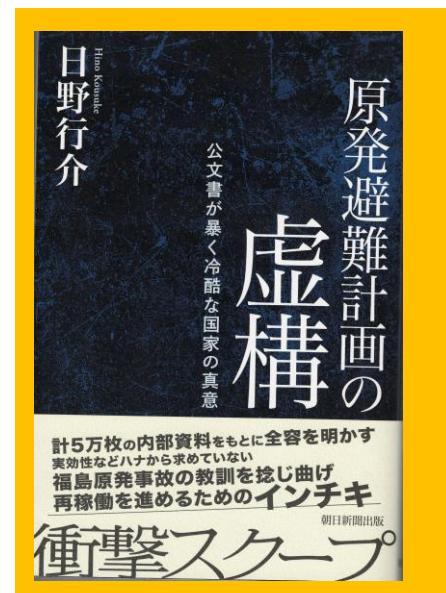
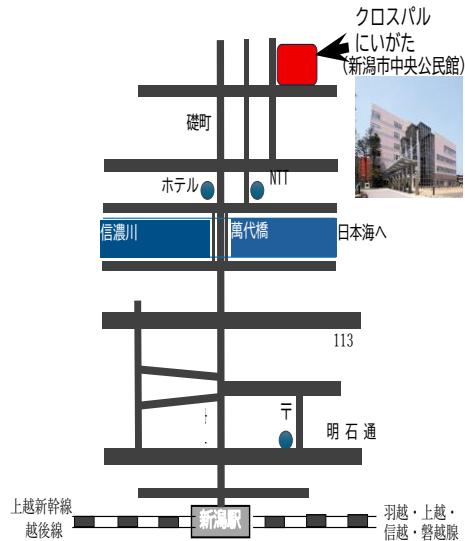
【講師プロフィール】；日野行介(ひの・こうすけ)さん

元毎日新聞記者。文化放送『長野智子アップデート』月1レギュラー。

著書「福島県民健康管理調査の闇」(岩波新書),「原発再稼働-葬られた過酷事故の教訓」(集英社新書),「情報公開が社会を変える-調査報道記者の公文書道」(ちくま新書),新刊「原発避難計画の虚構-公文書が暴く冷酷な国家の真意」(朝日新聞出版)など。



【会場への略図】



「役所はいつもこそこそと検討し、市民を欺き、聞く耳を持たず押し付ける。---市民がそんな政策にノーを突き付けるためには、何が誤っているのか、どこにウソがあるのか役人たちを論破できるほど主張を磨きぬかなければならぬ。」(「情報公開が社会を変える」帯文より)

「あるのか役人たちを論破できるほど主張を磨きぬかなければならぬ。そのために必要な情報は公文書の中にある。」(「情報公開が社会を変える」帯文より)

[主催：情報公開友の会、連絡先 090-6133-8297]

県民健康管理調査の闇

日野行介
Kouuke Hino

岩波新書